

















東京  
城  
日  
報

百八共刊夕朝  
朝  
人行醫藥  
小人  
通平太唐城京  
社會資本 財

續  
愈々第二回  
配本開始  
追加申込天殺到

筆執全郎九和佐

- 1 露出の決定
- 2 撮影の基礎
- 3 整色 寫眞術
- 4 風景撮影の實技
- 5 人物寫眞の研究
- 6 夜の寫眞術
- 7 現像の祕訣
- 8 引伸の指導
- 全八卷・内容見本道  
菊判特製大々華章版  
各巻 附註、索引、附録、索引、  
裝幀 附註、索引、附録、索引、  
申込金不返 附録、索引、  
會費毎月二圓 附録、索引、  
全圖表、附録、索引、

第一回配本大増刷

壓倒的大好評、又々大増刷

よい寫眞を作る最も重大なる第一歩  
は露出を正確に決定することである  
本書は露出の決定に關係ある天候、  
時間、紋り、被寫體等凡ゆる場合を  
列舉し、一々實驗に基いて明快に解  
答された寫眞家必讀の名著である。

出の決定

期待の第2回配  
**撮影の基礎**

# 撮影の基礎

筆隨藝學

全八卷  
生活を愛し心を  
いたはる雅趣溢  
る、教養の文學

[illegible]

十一月十一日號 實業之日本

●覺悟はよいか 三浦 重太郎 赤星 陸治  
●青年社員論 諸井 賢一  
●我南方政策と南洋の現状 大口 喜久  
●重役兼業廢止論 小林 一三

王子親政  
 日華生  
 高橋彌太郎  
 常務顧問  
 河路寅一  
 松本弘造  
 明治上  
 礦部掄一郎  
 路寅一

私は幾組の媒約人を勧めたかゝる金土同義

**好景氣必至論**  
 勝田貞次

消費經濟の合理性  
 低金利と金利生活者の苦  
 金70ツクの崩壊から  
 國際通貨協定の成立へ

豊田 金原賢之助

〇月給一圓の小學教員から轉身七回  
 遂に日本車輛社長つぎ三瓶勇佐氏

**「五萬圓  
 を作る  
 研究」**

★貸家經營で五  
 萬圓（半圓の資本金で  
 一年間に十萬圓）  
 玉塚 綿伍

五萬圓利殖正  
 攻法（廿十年に五萬圓立  
 中外商業新報掲載）  
 前田 梅松

玉塚 綿伍

**職業案内**

就職難しな	生命保険外務員 火災保險外務員 月掛貯金勸誘員 ビルプロパーコラー 自動車販賣外交	無盡外事 株式外交 廣告外交 通信外交 土地運搬ロバカライ
-------	---	---

(仕事、収入、就職、法)

實陽究の原由(金川博士)  
取らざる原因とそれら  
(金川博士著) 第1次 100頁 金 100  
サタリマンで博士になつた  
全國形勢知見ものがたり……  
(小堀小哲) 1頁 金 100

實業之日本社 (扶桑書局)  
價目 金 100

氏執筆  
導機關  
(見本通呈)

語講義錄

中下二部に「中下二部の期合申したるは「朝辭館校尉同知學士」に「**文苑**」を勅する。一語」を附録する。  
 又、内膳部司馬氏の帖事に「和子會話」文法、對聯法を勅する。  
 以上所載のことは上段に定評あり、年々施行するの第三  
 者にして、以上めつづあり、以て効果の顯著なること集るべきであ  
 る。も同時に説き及ぶることある。

卷一（三十四冊共） 卷二（三十四冊共） 卷三（三十四冊共） 卷四（三十四冊共） 卷五（三十四冊共） 卷六（三十四冊共） 卷七（三十四冊共） 卷八（三十四冊共） 卷九（三十四冊共） 卷十（三十四冊共） 卷十一（三十四冊共） 卷十二（三十四冊共） 卷十三（三十四冊共） 卷十四（三十四冊共） 卷十五（三十四冊共） 卷十六（三十四冊共） 卷十七（三十四冊共） 卷十八（三十四冊共） 卷十九（三十四冊共） 卷二十（三十四冊共） 卷二十一（三十四冊共） 卷二十二（三十四冊共） 卷二十三（三十四冊共） 卷二十四（三十四冊共） 卷二十五（三十四冊共） 卷二十六（三十四冊共） 卷二十七（三十四冊共） 卷二十八（三十四冊共） 卷二十九（三十四冊共） 卷三十（三十四冊共） 卷三十一（三十四冊共） 卷三十二（三十四冊共） 卷三十三（三十四冊共） 卷三十四（三十四冊共） 卷三十五（三十四冊共） 卷三十六（三十四冊共） 卷三十七（三十四冊共） 卷三十八（三十四冊共） 卷三十九（三十四冊共） 卷四十（三十四冊共） 卷四十一（三十四冊共） 卷四十二（三十四冊共） 卷四十三（三十四冊共） 卷四十四（三十四冊共） 卷四十五（三十四冊共） 卷四十六（三十四冊共） 卷四十七（三十四冊共） 卷四十八（三十四冊共） 卷四十九（三十四冊共） 卷五十（三十四冊共） 卷五十一（三十四冊共） 卷五十二（三十四冊共） 卷五十三（三十四冊共） 卷五十四（三十四冊共） 卷五十五（三十四冊共） 卷五十六（三十四冊共） 卷五十七（三十四冊共） 卷五十八（三十四冊共） 卷五十九（三十四冊共） 卷六十（三十四冊共） 卷六十一（三十四冊共） 卷六十二（三十四冊共） 卷六十三（三十四冊共） 卷六十四（三十四冊共） 卷六十五（三十四冊共） 卷六十六（三十四冊共） 卷六十七（三十四冊共） 卷六十八（三十四冊共） 卷六十九（三十四冊共） 卷七十（三十四冊共） 卷七十一（三十四冊共） 卷七十二（三十四冊共） 卷七十三（三十四冊共） 卷七十四（三十四冊共） 卷七十五（三十四冊共） 卷七十六（三十四冊共） 卷七十七（三十四冊共） 卷七十八（三十四冊共） 卷七十九（三十四冊共） 卷八十（三十四冊共） 卷八十一（三十四冊共） 卷八十二（三十四冊共） 卷八十三（三十四冊共） 卷八十四（三十四冊共） 卷八十五（三十四冊共） 卷八十六（三十四冊共） 卷八十七（三十四冊共） 卷八十八（三十四冊共） 卷八十九（三十四冊共） 卷九十（三十四冊共） 卷九十一（三十四冊共） 卷九十二（三十四冊共） 卷九十三（三十四冊共） 卷九十四（三十四冊共） 卷九十五（三十四冊共） 卷九十六（三十四冊共） 卷九十七（三十四冊共） 卷九十八（三十四冊共） 卷九十九（三十四冊共） 卷一百（三十四冊共）

朝鮮語研究會

白井の薬水

怖るべきは風邪です  
單なる鼻加答兒だとして油斷は大敵  
です 乾燥し切つた此頃の鋭い空  
氣 如何に鼻加答兒の多い事か  
鼻つまりは呼吸困難の基 今すぐ  
一番信用あり且簡便な此鼻病藥を

西京師士藥學士 平田氏監製  
西京師士藥學士 平田氏監製  
ミツワ堂監製三十三万の内

適應症候

**ワリミ**  
**鼻病液**

○  
ワツミ  
鼻病液

鼻加<sup>び</sup>充<sup>じ</sup>見<sup>み</sup>  
鼻<sup>び</sup>充<sup>じ</sup>血<sup>けつ</sup>  
鼻<sup>び</sup>出<sup>で</sup>血<sup>けつ</sup>  
性<sup>せい</sup>鼻<sup>び</sup>炎<sup>えん</sup>  
鼻<sup>び</sup>症<sup>しょう</sup>  
鼻<sup>び</sup>茸<sup>そう</sup>  
鼻<sup>び</sup>臭<sup>くさ</sup>  
肥<sup>ひ</sup>厚<sup>こう</sup>  
鼻<sup>び</sup>

みつわはなのくすり

液<sup>えき</sup>疾<sup>しつ</sup>鼻<sup>び</sup>

A detailed illustration of a medicine box and a bottle. The box is dark with a circular logo on top and the text '液疾鼻' (Nasal Disease Liquid) written on it. Next to the box is a small bottle with a label that matches the box's logo. The bottle has a stopper and a small label with a circular emblem. The entire illustration is in a woodblock print style.

くど けさ  
しけ毒の酒

[illegible]

心。嘔吐。胃痛。吐瀉症。

みつわ。さけのどくけし

**ワツミ 制酸錠**

イ・エ 30

○ミツマ石鑑本舗 東京・神保町  
丸見屋商店・薬品部



## +



[illegible]



